

ABIO AFシリーズ 先止水栓用 I 形 浄水器

取扱説明書

このたびは、*ABIO* 浄水器をお求めいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書を、ご使用前に必ずお読みになり、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
- この浄水器は寒冷地仕様ではありません。

安全にお使いいただくためのご注意

お使いになる人や財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容です。

注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

注意 事項は、状況により重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分して説明しています。

! この表示は、必ず守って実行していただく「強制」内容です。

⊘ この表示は、してはいけない「禁止」内容です。

警告

水道水の飲用基準に適合した水でご使用ください。水道水以外の水で病原菌等が混入していると、それが原因で健康障害を生じるおそれがあります。

注意 安全に浄水器をお使いいただくために。

新しい浄水器(カートリッジ)をお使いいただくときは、気泡および濁りが消えるまで3分間放流してください。また、その間に水漏れがないことを確認してください。

毎日のご使用開始時には、必ず下記秒間の放流をしてください。

AF-15L	AF-15XL
10秒	15秒

2日以上使用しなかった時は、2分間放流してください。

断水等の後は赤水が出る場合がありますので、浄水器以外の給水栓から放流してください。カートリッジの交換時期が大幅に早まる場合があります。

カートリッジは消耗品です。必ず定期的(最長12ヶ月)に交換してください。

この浄水器は寒冷地仕様ではありません。凍結が予測される地域では、お使いにならないでください。

汲み置きしないでください。処理水は塩素が取り除かれているので、滅菌作用がなくなっています。

養魚用にはお使いにならないでください。塩素の除去が不十分な場合、魚が死ぬおそれがあります。

注意 水漏れ事故は、ご使用になる方だけでなく、近隣にも多大な損害・迷惑を与えます。水漏れ等による事故を避けるために、下記の項目を必ずお守りください。

水漏れ等がないか、接続部や浄水器を1ヶ月に1度点検してください。

浄水器を長期間お使いにならないときは、止水栓を閉じてください。

5℃以下の冷水を浄水器に通さないでください。

35℃以上の温水を浄水器に通さないでください。

水圧が0.75MPaより高い所では、お使いにならないでください。ご使用する場合は、浄水器より元の配管に減圧弁を取付けてご使用ください。

高温の器具を近づけないでください。

接続部 配管パイプ 止水栓 浄水器に強い衝撃を与えないでください。

清掃する際には、洗剤やシンナー・ベンジンなどの有機溶剤は絶対に使わないでください。

お客様ご自身での分解・修理はしないでください。

専用カートリッジ以外は取り付けしないでください。

製品の仕様

種類	浄水器	
機種	AF-15L	AF-15XL
ろ過流量	15L/min	
ろ材	抗菌成形活性炭	
除去対象物質	残留塩素	
ろ過能力	残留塩素	300,000L
	濁度(10度)	-
	濁度(2度)	-
ろ材使用限界	12ヶ月(820L/日)	12ヶ月(1,350L/日)
常用使用圧力	0.07~0.75Mpa	
耐圧試験	1.75Mpa(静止圧1分間適合)	
配管接続口径	G1/2	
毎朝放流時間	10秒	15秒
認証登録番号	W-69	

カートリッジの交換時期について

ろ材(カートリッジ)は消耗品です。使用限界内に必ず交換してください。

使用限界以内でも、このような現象が現れたら、カートリッジを交換してください。

機種(型式)	カートリッジ使用限界
AF-15L	12ヶ月または300,000L
AF-15XL	12ヶ月または500,000L

通水量が極端に減少した場合

ろ材部の目詰まり

臭いや変な味が生ずる場合

除去能力の低下

注意 浄水器のカートリッジは消耗品です。定期的に変換しないと、

- ろ材部に除去成分が蓄積し、浄水機能が著しく低下します。
- ろ材部の目詰まりや浄水器ハウジングが劣化すると、水漏れすることがあります。また、ご使用になる方だけでなく、近隣にも多大な損害・迷惑を与えます。

カートリッジ交換、または、浄水器の取り付け取り外しは、お買い上げの販売店、またはクリタック(株)に依頼してください。

異常が生じた時

異常が生じた場合、次の表により点検して適切な処置をしてください。

症状	原因	処置
新しい浄水器またはカートリッジ交換後、処理水が出ない。	止水栓が閉じている。	止水栓を全開にしてください。
	IN-OUTが逆付けになっている。	正しい接続方向になおしてください。※施行説明書を参照。
新しいカートリッジで処理水の吐水量が少ない。	止水栓が全開にされていない。	止水栓を全開にしてください。
	配管等の鉄サビ、ゴミ等がIN側ノズルにつまっている。	フレキ配管を取り外して洗浄してください。
徐々に処理水の吐水量が少なくなった。	ろ材部の目詰まり。	お買い上げの販売店またはクリタック(株)へお問い合わせください。

カートリッジの交換方法

カートリッジの交換は、必ず下記の手順に従って行ってください。手順、接続を間違えすと、水漏れ、故障の原因となります。

- 交換時は、浄水器やフレキ配管の滞留水を床にこぼさないようバケツ等で受けて作業してください。
- カートリッジに強い衝撃を与えないでください。
- 水漏れの原因になることがありますのでカートリッジは絶対に分解しないでください。
- 専用カートリッジ以外は取り付けしないでください。

1 止水栓と給水栓を閉めてください。

2 チョウネジをゆるめず。

3 締め付けバンドを押しひろげ、外します。

4 本体とカートリッジを取り外します。

5 カートリッジを交換します。取り出し(旧) 取り付け(新)

●古いカートリッジを本体から取り出し、新しいカートリッジをセットします。

6 本体と新しいカートリッジを取り付けます。

●キャップノズルとカートリッジノズルの位置を合わせ、さしこみます。
●締め付けバンドを取り付け、チョウネジをしっかり締めてください。

7 放水と水漏れチェックをしてください。

●給水栓を全開にしておいて、止水栓をゆっくり開きながら全開にしてください。ろ材(活性炭等)を水洗するため3分間放流してください。その後、給水栓を閉めた状態で、本体および配管各部より水漏れがないか確認してください。

本体・カートリッジの廃棄について

●本体・カートリッジは、お客様の所有物です。地方自治体の条例に基づき廃棄してください。

水漏れが生じた場合は

症状	原因
接続部から水が漏れる。	接続部の取り付けが不完全。
浄水器から水が漏れる。	浄水器本体の損傷。

お問い合わせは



クリタック株式会社 本社/〒164-0012 東京都中野区本町2-46-1 TEL:03-5308-1302 FAX:03-3379-5357